



## 2024年 岐阜県の主要事業実績



1月	能登半島地震における被災地に対する支援 (1/1~)	P5
	山県市内における高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う防疫措置の実施 (1/5~1/7)	P17
2月	「汚水の集合処理事業に係る災害支援協定」の締結 (2/1)	P2
3月	「都市計画道路 長良糸貫線・折立大学北線」の開通 (3/17)	P4
4月	「ぎふ農福連携推進センター」の開設 (4/1)	P8
	「高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン2024」の開催 (4/28)	P25
5月	県独自の森林由来のカーボン・クレジット制度「G-クレジット」の初回認証 (5/14)	P13
	災害廃棄物の早期受入れ実現等を目的とした「住友大阪セメント(株)との包括連携協定」の締結 (5/21)	P3
6月	「ぎふ若者定着奨学金返還支援制度」の創設 (6/1)	P7
	「岐阜県日本語学習支援センター」の開設 (6/18)	P9
7月	「中部山岳国立公園奥飛騨ビジターセンター」のリニューアルオープン (7/13)	P30
	「第60回献血運動推進全国大会」の開催 (7/18)	P20
	「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト ~ウズベキスタン・ドイツ~」の実施 (7/19~26)	P28
	「清流の国ぎふ総文2024」の開催 (7/31~8/5)	P23
8月	「ぎふ木遊館」サテライト施設「なかつがわ 森の木遊館」の開館 (8/4)	P12
	「東アジア農業遺産学会」の開催 (8/8、9)	P17
	「RIE KANETO Memorial Cup 2024」の開催 (8/12)	P25
	台風第10号による西濃地域での浸水被害に対する災害救助法の適用 (8/31)	P5
9月	<文化祭事業> 「清流の国ぎふ 地芝居・伝統芸能フェスティバル」の開催 (9/1~11/24)	P24
	「エンジン03 in 岐阜」の開催 (9/7、8)	P31
	<文化祭事業> 「大関ヶ原祭2024」の開催 (9/7~10/20)	P31
	能登半島での大雨における被災地への支援 (9/21~)	P5
	<文化祭事業> 「ぎふ森フェス」の開催 (9/28~11/30)	P12

10月	<文化祭事業> ポーランド国立民族合唱舞踊団「シロンスク」の公演 (10/10、11)	P28
	<文化祭事業> 空宙博 新企画棟「スペースボックス」における特別企画展の開催 (10/12~R7/3/9)	P30
	「『清流の国ぎふ』文化祭2024」の開催 (10/14~11/24)	P23
	<文化祭事業> 「『匠の国ぎふ』の技を支える道具展」の開催 (10/14~11/24)	P24
	<文化祭事業> 「ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 飛騨高山」の開催 (10/16)	P29
	<文化祭事業> 「文化的処方プログラム シンポジウム」の開催 (10/16)	P23
	<文化祭事業> 「Ways of Earth ハンガリー・日本陶芸作家交流展」の開催 (10/18~11/17)	P29
	<文化祭事業> 「国際陶磁器フェスティバル美濃'24」の開催 (10/18~11/17)	P30
	<文化祭事業> 「リトアニアNOW2024」の開催 (10/18~11/15)	P29
	<文化祭事業> 「清流の国 文化探訪『南飛騨 Art Discovery』」の開催 (10/19~11/24)	P30
	「SIAL Paris 2024」等への参加、 「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト ~フランス~」の実施 (10/20~24)	P11,26
	<文化祭事業> 「日本ライン・KISOGAWA River to Summit 2024」の開催 (10/26、27)	P30
	<文化祭事業> 「岐阜県農業フェスティバル」、「全国農福連携マルシェinぎふ」の開催 (10/26、27)	P8
	<文化祭事業> 「薬草フォーラム」の開催 (10/30、31)	P31
11月	<文化祭事業> 「文化芸術共創プログラム 総括フォーラム」の開催 (11/3)	P23
	「(一社)日本福祉用具供給協会との災害時連携協定」の締結 (11/5)	P3
	「ぎふ木遊館」サテライト施設「ひだ木遊館 木っずテラス」の開館 (11/16)	P12
	本巣市内における高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う防疫措置の実施 (11/19~11/22)	P17
12月	避難所の環境改善に向けた「トイレトラック」の整備 (12/20)	P6

## 令和6年の県政を振り返って

### I 持続可能な「清流の国ぎふ」を目指して

- 1 県土と危機管理体制の更なる強靱化《P. 1》
  - (1) 災害対応力の強化
  - (2) 災害に強いインフラの整備
  - (3) 災害避難者及び被災地への支援
  
- 2 人への投資《P. 6》
  - (1) 未来を担う子どもや若者への投資
  - (2) 地域や産業を支える担い手への投資
  - (3) 多様な人材の活躍推進
  
- 3 産業への未来投資《P. 9》
  - (1) 商工業・サービス産業への投資
  - (2) 農林畜水産業への投資
  
- 4 グローバルアジェンダへの対応《P. 12》
  - (1) GXの推進
  - (2) DXの推進
  - (3) SDGsの推進

### II 暮らしやすい「清流の国ぎふ」の実現

- 1 困難な状況からの脱却に向けた経済対策《P. 16》
  - (1) 物価高騰を乗り越えるための支援
  - (2) 厳しい状況に直面する農畜水産業への支援
  
- 2 暮らしの安全安心確保《P. 18》
  - (1) 医療・福祉の充実と暮らしの安全確保
  - (2) 誰もが安心して暮らせる社会の実現
  
- 3 少子化対策の推進《P. 21》
  - (1) 子どもを産み育てやすい地域づくり
  - (2) 若者向けの移住定住対策の強化

### Ⅲ 「清流の国ぎふ」の魅力向上と発信

- 1 清流文化の創造・発信 《P. 23》
- 2 観光・交流の推進 《P. 26》
  - (1) インバウンド、国内誘客の推進
  - (2) 国際交流の深化
- 3 地域の新たな魅力創出 《P. 30》

# I 持続可能な「清流の国ぎふ」を目指して

元日に発生した能登半島地震や9月に発生した能登半島での大雨においては、県内42全ての市町村や関係機関等と連携した「オール岐阜」体制で人的・物的両面から様々な支援を行うとともに、8月には台風第10号の影響による大雨により西濃地域で浸水被害が発生したことも踏まえ、「今日の我が身」の心構えで、災害対策の一層の強化充実を進めました。

また、子どもや若者、地域や産業を支える担い手への投資、商工業・サービス業、農林畜水産業といった各産業への投資のほか、SDGsやDX、地球温暖化防止に向けたGX、新エネルギーの活用などのグローバルアジェンダへの対応により、未来の「清流の国ぎふ」の礎が強固となるような取組みを進めてきました。

## 1 県土と危機管理体制の更なる強靱化

### (1) 災害対応力の強化

#### ①各種計画の改定

##### (岐阜県強靱化計画)

- ・ 能登半島地震を踏まえた震災対策の見直しや、国の国土強靱化基本計画の見直しを切り口として、県土強靱化の推進に関する基本的な計画である「岐阜県強靱化計画」を令和7年3月に改定するため、全庁的な議論に向けて「岐阜県強靱化推進本部員会議」を開催(6/17、9/3)したほか、学識経験者等から幅広く意見を聴取するため「岐阜県強靱化有識者会議」を開催(6/5、9/9)

##### (岐阜県地震防災行動計画)

- ・ 「岐阜県強靱化計画」の改定と合わせて、地震防災施策に関する具体的な取組みを定める「岐阜県地震防災行動計画」を令和7年3月に改定するため、「岐阜県地震防災行動計画検討委員会」を開催(10/24)

#### ②各種訓練の実施

##### (豪雨災害対応防災訓練)

- ・ 豪雨災害に対する対応手順の習熟を図り、市町村、国、自衛隊、ライフライン事業者(電力会社、通信事業者、ガス事業者)等の関係機関との連携を強化することを目的に、豪雨災害対応防災訓練を実施(5/29)

##### (国民保護訓練)

- ・ 県・市町村・関係機関が連携し、武力攻撃事態発生時の国民保護に関する手順を習熟するため、圏域毎に訓練の中核となる市がそれぞれ対策本部を設置し、同一の訓練シナリオによって国民保護訓練を実施(8/20)

#### (道路啓開訓練)

- ・ 南海トラフ地震などの大規模地震時に迅速に救援ルートを確認できるよう、国や災害応援協定を締結している建設業協会などの関係機関と連携した道路啓開訓練を実施（10/17、11/12、11/13）
- ・ 今回より能登半島地震で多く発生した橋梁段差に対する訓練を追加

#### (原子力防災訓練)

- ・ 原子力災害発生時における県の初動体制と本部運営体制の確認や国・県・市町村・関係機関の連携体制の強化を図るため、揖斐川町の住民も参加し、原子力防災訓練を実施（11/16）

#### (総合防災訓練)

- ・ 県の災害時の対応力向上を図るとともに、県民の防災意識の高揚を図ることを目的として総合防災訓練を実施（11/19）
- ・ 今回は、能登半島地震での経験を踏まえ、県と市町村の連携強化を図るため、初めて県内5市町（岐阜市、各務原市、山県市、瑞穂市、揖斐川町）と同一シナリオで災害対策本部の運営訓練を行うなど、必要な対策を追加・拡充して訓練を実施

### ③防災意識啓発イベントの開催

- ・ さぼろ遊学館が設立30周年を迎えるにあたり、砂防の歴史を学び、砂防の重要性や土砂災害から命を守る防災行動への理解を深めてもらうため、「さぼろ遊学館設立30周年記念シンポジウム」を開催（6/14）
- ・ 土砂災害について学び、身を守るための知識を身に付けるため、県内在住の小学生とその保護者を対象とした「岐阜県親子砂防バス見学会」を開催（8/10、11/10）
- ・ 一人ひとりの県民の防災を学ぶ機会の充実・強化として、初めて県庁舎やぎふ結のもりを活用した防災教育フェアを開催（11/9）

### ④災害を想定した協定の締結

#### (下水道などの円滑な復旧)

- ・ 災害時に円滑かつ迅速な対応ができる体制を構築するため、県・市町村連名で、下水道などの汚水の集合処理に関する業務を行う4団体それぞれと災害支援協定を締結（2/1）
  - ▶協定締結団体：（公社）日本下水道管路管理業協会、（公社）全国上下水道コンサルタント協会、岐阜県環境整備事業協同組合、地方共同法人日本下水道事業団

#### (ブルーシート等の供給)

- ・ 災害発生時に必要となるブルーシート等を確保するため、萩原工業（株）と物資調達に関する協定を締結（3/29）

### (災害廃棄物の早期受入れ実現)

- ・ 災害発生時において、災害廃棄物の早期受入れ実現等を目的に、住友大阪セメント(株)と包括連携協定を締結 (5/21)

### (福祉用具の供給)

- ・ 災害発生時において、避難所等において必要とされる福祉用具等の物資を確保することを目的に、(一社)日本福祉用具供給協会と災害時連携協定を締結 (11/5)

## ⑤地域防災・減災の推進

- ・ 清流の国ぎふ防災・減災センターにおいて平成28年度から取り組む「げんさい未来塾」が、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会から「グランプリ・レジリエンスジャパン推進協議会長賞」を受賞 (4/23)

## (2) 災害に強いインフラの整備

### ①住宅等の耐震化・空き家対策

#### (住宅などの耐震診断・改修に対する支援)

- ・ 住宅などの耐震診断や木造住宅の耐震改修を支援する制度について、能登半島地震を踏まえて事業費を拡充
- ・ 県と市町村が共同で、「旧耐震基準」で建てられた木造住宅を訪問し、パンフレットを配るなど耐震化を進めるよう呼びかける取組みを実施

(31市町で実施)

#### (空き家の除却などに対する支援)

- ・ 危険な空き家の除却や空き家の利活用などに取り組む市町村に対する支援について、能登半島地震を踏まえて事業費を拡充

### ②道路整備

#### (緊急輸送道路等の整備)

- ・ 災害時において、孤立防止や迂回路としても機能する緊急輸送道路等の拡幅やバイパス整備等を実施

[道路拡幅等] (国)303号 西横山バイパス (揖斐川町) 西横山～坂内坂本区間  
ほか

[斜面对策] (国)472号 奥住工区 (郡上市) ほか

[橋りょう耐震] (国)158号 牧橋 (高山市) ほか

#### (県道乗鞍公園線(乗鞍スカイライン)の仮設道路の完成)

- ・ 令和4年9月の被災により通行止めとなっていた県道乗鞍公園線(乗鞍スカイライン)について、仮設道路が完成し、片側交互による通行を再開 (8/20)
- ・ (仮称)乗鞍トンネル(高山市丹生川町久手地内)については、今年度よりトンネル本体工事に着手し、全長602mのうち、現在110mの掘削が完了

**(東海環状自動車道西回り区間、ICアクセス道路の整備)**

- ・ 防災・減災、県土強靱化、企業立地、広域観光などへの効果が期待される東海環状自動車道西回り区間のICアクセス道路である「都市計画道路 長良糸貫線・折立大学北線」が開通 (3/17)
- ・ 山県IC～大野神戸IC間におけるインターチェンジなどの名称が決定 (8/5)

**(東海北陸道自動車道の全線4車線化)**

- ・ 未事業化区間となっていた飛驒清見ICから白川郷IC間のうち、約4kmが事業化され、また、最大の難所である約10kmの飛驒トンネルを含む約12kmが事業化に向けて調査を行う準備調査個所に選定 (3/27)

**(中部縦貫自動車道の整備)**

- ・ 未事業化区間となっていた平湯ICから(仮称)丹生川IC間のうち、平湯ICから(仮称)久手IC間の6kmが事業化 (4/1)

**③流域全体における水害・土砂災害対策の推進**

- ・ 河川改修や砂防関係施設の整備、堆積した土砂の除去など、流域のあらゆる関係者で協働して災害対策を行う「流域治水」を推進  
[河川改修] 境川(岐阜市ほか)、大谷川(大垣市)、津保川(関市)、  
久々利川(可児市)ほか  
[長寿命化対策] 阿多岐ダム(郡上市)、中野方ダム(恵那市)ほか  
[ダム建設] 国土交通省:新丸山ダム(八百津町・御嵩町)  
県:内ヶ谷ダム(郡上市)  
[砂防事業(土石流対策)] 向仙谷(山県市)、志津北谷(海津市)、  
和田洞谷(下呂市)ほか  
[擁壁等(がけ崩れ対策)] 岐荘ヶ丘(岐阜市)、乙原(揖斐川町)、  
川原(高山市)ほか

**④流域下水道・県営水道の地震対策や施設整備の推進**

- ・ 災害時にも流域下水道の処理機能や県営水道の給水機能を確保するため、施設の耐震化や更新などを継続的に実施

**⑤農業用ため池の地震・豪雨対策や農業用排水機場などの整備**

- ・ ため池での地震・豪雨対策や、老朽化した農業用排水機場の整備などを実施  
(ため池:46箇所、農業用排水機場:7箇所)

**⑥治山施設と森林整備による山地防災力の更なる強化**

- ・ 渓流内の不安定土砂の移動を防ぐダムなどを設置する治山対策と、健全な森林へ誘導するための間伐などの森林整備を総合的に行う事前防災対策を実施  
(14地区で新規着手)

### (3) 災害避難者及び被災地への支援

#### ①県内全市町村や関係機関と連携した「オール岐阜」体制での被災地支援

##### (能登半島地震)

- ・ 対口支援団体として指定された中能登町、輪島市を中心に、県、全ての市町村、緊急消防援助隊、県警の広域緊急援助隊、その他関係機関など合わせて、延べ約1万7千人・日を超える人的支援を実施したほか、その後も県及び市町村職員による中長期的な行政支援を実施

##### (能登半島での大雨)

- ・ 発災直後には、緊急消防援助隊や県警の広域緊急援助隊が最大120人規模で活動に当たったほか、輪島市の対口支援団体に指定されたことを受けて避難所運営などを支援し、合わせて延べ1千8百人・日を超える人的支援を実施

#### ②県内で発生した災害への対応

##### (大雪による名神高速道路での車両滞留)

- ・ 1月23日からの大雪により、関ヶ原町では3時間、6時間、12時間当たりの降雪量がいずれも観測史上1位を記録
- ・ 名神高速道路の関ヶ原IC付近において、上下線合わせて最大1,200台の車両滞留が発生したことから、県として、直ちに自衛隊への災害派遣要請を行うとともに関ヶ原町を対象に災害救助法を適用(1/24)
- ・ 県では、立ち往生している車中の方々に対する食料等の調達・配布や避難所支援を実施(1/24)

##### (南海トラフ臨時情報)

- ・ 8月に、南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が制度の運用開始以来、初めて発表され、「岐阜県災害警戒会議」を速やかに開催(8/8)し、日頃からの地震への備えを再確認いただくよう県民への呼びかけを実施

##### (西濃地域での浸水被害)

- ・ 8月末の台風第10号により、西濃地域を中心に大雨となり、河川の氾濫や、内水氾濫によって、160棟を超える住家浸水や道路冠水などが発生
- ・ 大垣市が、県内では3年ぶりとなる警戒レベル5の「緊急安全確保」を発令したほか、河川の氾濫が確認されたことから、県としても直ちに、被災者の応急救助に万全を期すため、大垣市と池田町を対象に災害救助法を適用(8/31)
- ・ 県では、被災者支援のため、被害を受けた中小企業・小規模事業者、農業者の方々に対して、事業の再建に向けた様々な融資制度などの相談窓口を設置(9/3)

### ③災害に備えた体制の整備

#### (孤立の発生やライフラインの途絶に備えた備蓄資材の拡充)

- ・ 孤立の発生やライフラインの途絶に備え、広域防災センターなどの食料や発電機を拡充したほか、新たにトイレトラックを整備（12/20）  
　　今後は、循環式携行型シャワールームを整備予定
- ・ 災害により断水が発生した地域で速やかな応急給水活動を行うため、組立式給水タンク及び運搬車両を追加整備  
　　（組立式給水タンク：4基配備（7/2）、運搬車両：1台追加配備（9/18））
- ・ 道の駅において、災害時に利用できるマンホールトイレなどの整備  
　　（これまでに13駅）
- ・ ブルーシートや土のうなどの災害用資機材を備蓄する拠点を追加整備  
　　（これまでに13箇所）

#### (避難所の生活環境改善の加速化)

- ・ 女性など多様な方の視点を踏まえ、専用更衣室や防犯センサーなどを備えたモデル的な避難所整備を実施（累計34市町村（予定）を支援）

#### (地域における消防力の強化)

- ・ 消防団員の確保に向け、各県事務所を核として、市町村、消防団等をメンバーとした協議体を新たに設置し、地域ごとに工夫を凝らした事業（消防団活動を紹介する動画の作成や公用車等を活用した団員募集PR等）のほか、事業所訪問等を実施
- ・ 消防分野における女性の参画拡大に向け、女性消防吏員が生き生きと働き続けられるよう、また、女性消防団員が活動しやすい環境を作るため、研修・交流会を開催（団員：11/17、吏員：11/18）し、知識の習得や意見交換を実施

## 2 人への投資

### (1) 未来を担う子どもや若者への投資

#### ①県立高校

- ・ 県立高校において、生徒の多様な学びの選択肢を確保するため、遠隔授業の本格実施に向けた機器などの整備や実証研究を実施  
　　（受信側4校、配信側1校に機器を整備）

#### ②外国人児童生徒への支援

- ・ 外国人が少ない地域の学校や受入れ体制が十分確保できない小規模校に通う外国人児童生徒へのオンライン日本語指導や教員向けの日本語指導の手引きを作成（オンライン日本語指導：15校）

#### ③不登校児童生徒への支援

- ・ 不登校児童生徒への学習指導や学習に関する相談対応を行う不登校対応学習指導員を設置する市町村を支援（支援市町村数：22市町村）

- ・ 不登校生徒の心と学習の両面を支援する教育支援センター(Gープレイス)において、不登校対応専門職による巡回訪問を実施

#### ④生活困窮世帯の子どもへの支援

- ・ 生活困窮世帯の子どもに対し、学習塾などのノウハウを活かしたオンラインによるタブレットを利用した講師と受講生の1対1での学習支援を実施  
(利用者数：25名)

#### ⑤高等学校及び特別支援学校高等部への支援

- ・ 病気療養により入院中の生徒に対するオンデマンド型授業の実施に向けて、実証授業を行い、成果の周知広報を実施(2校で実証授業実施)

#### ⑥キャリア教育の推進

- ・ 高校生や大学生などの県内就職促進に向け、学校のキャリア教育に関するニーズの掘り起こしや、県内企業の魅力を伝える授業などを実施  
(キャリア教育に関する講義等を15校で実施)

## (2) 地域や産業を支える担い手への投資

### ①県内に就職する人材への支援

#### (県内企業に就職する若者への奨学金返還支援制度の創設)

- ・ 県内事業所に就職する35歳未満の若者に対し、県と企業が連携して大学など在校時の奨学金返還を支援する制度を創設  
▶ぎふ若者定着奨学金返還支援制度(受付6/1～:56社登録)

#### (医学生への修学資金や専門研修中の医師への研修資金の貸付)

- ・ 医学生や専門研修中の医師に対し、卒業後や専門研修後に県内医療機関で勤務するなどの条件を満たした場合に、返還を免除する資金の貸付けを実施  
▶岐阜県医学生修学資金貸付制度(1種)  
(受付4/1～5/31)【新規貸付:(岐阜県コース)22件、2,018千円、  
(地域医療コース)6件、3,218千円】  
▶岐阜県医学生修学資金貸付制度(2種)  
(受付4/1～5/31)【新規貸付:4件、1,200千円】

#### (看護学生に対する修学資金貸付制度の創設)

- ・ 県内の看護師等養成所で学ぶ看護学生に対し、卒業後に県内医療機関で勤務するなどの条件を満たした場合に、返還を免除する制度を創設  
▶岐阜県看護学生修学資金貸付制度  
(一次受付10/1～10/31)【62件、21,864千円】  
(二次受付11/12～11/29)【8件、2,688千円】

### (県内小中学校の新規採用教員への奨学金の返還支援)

- ・ 県内高校などを卒業し、県内小中学校に新規採用された教員のうち7年以上の勤務を予定する者に対し、大学時の奨学金の返還を支援
  - ▶岐阜県教員確保推進事業費補助金（受付 R6 3/26～R6 4/30）【内定 40人】

## ②技術者養成への支援

### (農業)

- ・ 新規就農者・就農研修者、農業経営者といった、キャリアステージに応じた体系的な経営力強化研修を実施（9月以降開催）
- ・ 即戦力となる花と緑の人材を育成するため、ぎふワールド・ローズガーデン内に国際園芸アカデミー実践教育フィールドを開設（4/24）。また、同校の20年の歩みを振り返るとともに、今後の飛躍を期待する記念式典を開催（11/12）

### (林業)

- ・ 森林文化アカデミーと「森のジョブステーションぎふ」の双方が連携して林業の担い手の確保・育成・定着を目指すため、「森のジョブステーションぎふ」の事務所を森林文化アカデミー内に移転（12/17）

### (建築業)

- ・ 県内の建築関係の企業や建築工事現場の見学、建築の仕事に関わる体験と、地域の魅力を同時に体感できるプログラムとして、「建築のしごと体感バスツアー」を開催（9/3、4）

## (3) 多様な人材の活躍推進

### ①農福連携の推進

#### (「ぎふ農福連携推進センター」の開設による推進体制の強化)

- ・ 農福連携の認知度向上などの推進機能を強化するため、県農畜産公社内に「ぎふ農福連携推進センター」を開設（4/1）

#### (ノウフク商品の販路拡大)

- ・ 農福連携全国都道府県ネットワーク（会長：岐阜県知事）が一般社団法人日本農福連携協会等と共催し、JA全農の通販サイト「JAタウン」内の特設サイトにて、全国のノウフク商品を販売するオンラインマルシェを初めて開催し、県内7団体が出展（10/26～12/26）
- ・ 農福連携に取り組む県内外の事業者のノウフク商品の販売や農福連携の活動PRを行う「全国農福連携マルシェ」を「岐阜県農業フェスティバル」内で開催（10/26、27）

## ②外国人活躍の推進

### (外国人県民のための「岐阜県日本語学習支援センター」の開設)

- ・ 外国人県民の日本語学習に対する支援の拠点として、市町村などが運営する地域日本語教室に関する相談対応や日本語教育人材の育成などを総合的に支援する「岐阜県日本語学習支援センター」を開設 (6/18)

### (外国人の雇用や定着に向けた環境整備)

- ・ 外国人材の採用戦略の構築や住宅確保、地域共生等、企業が抱える外国人雇用の課題の解決に向け、行政書士等の専門家による伴走型の相談支援体制を整備 (相談会：12回開催)

## ③ワーク・ライフ・バランスの推進

- ・ ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた企業の取組みを促進するため、「清流の国ぎふワーク・ライフ・バランス推進フォーラム」を開催 (2/2)
- ・ 仕事と家庭を両立できる職場環境づくりを企業へ働きかけるとともに、家事や育児の振り返りを家庭へ呼びかける「ぎふ共家事(ともかじ)・共育(ともいく)キャンペーン」を開催
  - ▶家庭向け：9/10～R7/2/28、企業向け：9/26～R7/2/28

## ④男女共同参画社会の推進

### (性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)の解消)

- ・ 性別にかかわらず、自分らしい主体的な生き方をするための多様な選択や、最大限の能力発揮ができる男女共同参画社会の実現を目指すため、性別で感じる“違和感”を共有し考えるため、エピソードを募集 (5/15～7/18)
- ・ また、そのエピソード内容をもとに制作した動画を募集 (10/1～12/31)

### (女性の活躍推進)

- ・ 県と県内経済団体等で構成する「清流の国ぎふ女性の活躍推進会議」において、女性活躍に向けた企業の取組みを促進するため、「清流の国ぎふ女性の活躍推進フォーラム」を開催 (11/29)
- ・ 若年女性が、県内に定着し活躍するイメージを掴むことができるよう、県内の大学生等を対象に、岐阜で活躍する女性との交流会を開催 (10/17、12/4、12/18)

## 3 産業への未来投資

### (1) 商工業・サービス産業への投資

#### ①スタートアップ支援

##### (「スタートアップ専門コンシェルジュ」の設置)

- ・ スタートアップの創出と成長を加速させることを目的として、スタートアップの相談窓口「スタートアップ専門コンシェルジュ」を(公財)岐阜県産業経済振興センター内に設置 (5/30)

### (事業化支援)

- ・ ぎふスタートアップ支援コンソーシアムで他のスタートアップのロールモデルとなり得るとして認定された「ぎふプライムスタートアップ」をはじめとするスタートアップの事業化に要する経費を支援

### ②ものづくり産業への支援

- ・ 県内ものづくり産業の総合支援拠点として、ものづくり産業の高度化・新ビジネスの創出、人材育成・確保、企業間連携等の支援を行うため、テクノプラザ内の「岐阜県科学技術振興センター」など4つの県有施設を統合し、「テクノプラザものづくり支援センター」としてオープン(4/1)
- ・ 生産性向上や競争力強化、また、資源消費の最小化・廃棄物の発生抑止等を目指す循環経済への対応に必要とされるシミュレーション技術、リサイクル技術、製造技術等の研究開発を実施

### ③物流2024問題への対応

#### (協議会の設立)

- ・ 県の物流業界における人手不足等の課題解決に向けて、荷主と物流事業者が一体となってスマート物流実現の推進を図るため、「岐阜県スマート物流推進協議会」を設立(4/16)
- ・ また、設立記念として、設立総会及び記念講演会を開催(6/3)

#### (シンポジウム等の開催)

- ・ 「物流2024年問題」の解決に向け、物流事業者や荷主企業、一般消費者の理解や協力の促進、意識改革に向けたシンポジウムを開催(9/6)したほか、荷主向け、物流事業者向けのセミナーをそれぞれ開催(荷主向け:10/24、物流事業者向け:11/12)
- ・ トラック、バス、タクシードライバーなどへの就職に向けた合同企業説明会や魅力発信イベントとして、「オール岐阜フェス 物流・旅客業界の日」を開催(11/29、30)

### ④航空宇宙産業の推進

- ・ ドローンビジネスを推進するため、ドローン関連企業や提供するサービス等を紹介するビジネスマッチングサイト「岐阜県ドローンプラットフォーム」を開設(3/19)
- ・ 人手不足等による物流の課題解決に向けたドローン配送の実証事業支援として、各務原市内で医薬品配送訓練(10/9)及び、可児市の生産農場から搬送するバス停までの輸送実証(12/11)を実施

## ⑤企業誘致の推進

- ・ 企業立地促進事業補助金制度に、「脱炭素化促進事業枠」を新設するとともに、「サプライチェーン対策事業枠」の対象事業を拡大し、投資額要件を緩和
- ・ サテライトオフィスの誘致に向け、誘致につながる商談の機会を獲得するため、企業の問い合わせフォームを活用した誘致活動を実施（5,000件実施）

## ⑥県産品の販路拡大

### （海外での販路拡大）

- ・ 日本酒の販路拡大のため、フランス・パリにおいて、日本酒販売会等を開催
  - ▶一般消費者向け試飲販売会（1/29～2/10）
  - ▶現地小売店及びレストラン関係者向け試飲会（2/13）
- ・ イスラム市場への販路拡大のため、東京で開催されたアジア最大級の国際食品・飲料展「FOODEX JAPAN2024（第49回国際食品・飲料展）」に岐阜県ブースを出展（3/5～3/8）
- ・ マレーシア・クアラルンプールにおいて、県産品フェアを開催（3/8～3/31）
- ・ 日系団体による世界最大規模の日本祭り「第25回サンパウロ日本祭り」内で開催される「第1回ふるさといいもの展」に、ブラジル岐阜県人会と連携し、岐阜県ブースを出展（7/12～7/14）
- ・ ワイン等酒類専門家養成学校 IFCO パリ校において、県酒造組合連合会及びフランスの日本酒コンクール主催団体（Kura Master 協会）と連携し、日本酒セミナーを開催（10/23）《トップセールス》
- ・ 海外の県産品販売・情報発信拠点であるグローバル・アンテナ・ショップ（GAS）において、県産品フェアを開催
  - ▶フランス・パリ「L'embrasser」（10/22～11/4）
  - ▶フランス・コルマル「Konjaku」（10/26～11/18）
  - ▶香港「COME IN' haru」（12/14～12/22）
- ・ 香港で開催されたアジア最大級のワイン・酒類の見本市「香港インターナショナル・ワイン&スピリッツ・フェア 2024」に、岐阜県ブースを出展（11/7～11/9）

## （2）農林畜水産業への投資

### ①オールジャパンの海外プロモーションの編成・参加

- ・ 国、ジェトロや全国知事会と連携し、オールジャパンで行う海外プロモーションの一環として、フランスでの世界最大級の総合食品見本市「SIAL Paris 2024」に参加。会場に岐阜県ブースを設け、飛騨牛寿司や栗きんとん等のPRを実施（10/21）《トップセールス》  
また、駐フランス日本国大使公邸において、現地旅行会社やメディア等に向け「日本ならではの観光と食」キャンペーンを実施し、本県は富山県とコラボした飛騨牛握り寿司や、日本酒「玉柏」純米大吟醸を提供（10/22）《トップセールス》

## ②飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト

- ・ 現地有名レストラン「アストランス」（フランス）において、シェフや流通事業者などの業界関係者等を招待し、飛騨牛や初輸出した鮎などの食材の魅力を引き出したメニューを提供（10/22）《トップセールス》

## ③森林サービス産業の育成・普及

- ・ 山村地域に新たな雇用と収入機会、関係人口を生み出す森林サービス産業を推進するため、「森林サービス産業推進特別セミナー」を開催（1/11）
- ・ 県内各地の森林空間を活用した、森林アスレチック、Eバイク体験、森林浴などの体験プログラムを楽しめるイベント「ぎふ森フェス」を開催（9/28～11/30）

## ④県産材の販路開拓

- ・ 令和5年4月1日に施行した「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例」に基づき、計17事業者と県産材利用促進協定を締結（第2回協定締結式：2/28 11事業者、第3回協定締結式：11/2 6事業者）
- ・ 木材産業を取り巻く環境変化に的確に対応し、林業、木材事業者が行う岐阜県産の木材の利用拡大に関する取組みに対する支援を実施
  - ▶県産材競争力強化・販路拡大支援事業  
（受付4/15～5/10）【23件、26,669千円】

## ⑤木育の推進

- ・ 平成25年3月に策定した「ぎふ木育30年ビジョン」に基づき推進する「ぎふ木育」の取組みについて、その総合拠点として令和2年7月に開館した「ぎふ木遊館」のサテライト施設として、中津川市に「なかつがわ 森の木遊館」（8/4）を、高山市に「ひだ木遊館 木っずテラス」（11/16）を開館

# 4 グローバルアジェンダへの対応

## (1) GXの推進

### ①脱炭素に向けた県民意識の醸成

#### (ぎふエコアクション)

- ・ 県内のご家庭を対象に、毎日の生活の中で取り組める省エネ行動をチェックすることで、CO2排出削減量が見える化するWebサイト「ぎふエコアクション」を開設（1/12）
- ・ 併せて、CO2削減量に応じて貯めたエコポイントで応募できる県産品プレゼントキャンペーンを実施（1/12～3/8、10/1～R7/2/14）

#### (近隣県との取組み)

- ・ 3月に、岐阜、愛知、三重県が共同して策定した「伊勢湾流域圏海洋ごみ対策推進広域計画」を踏まえ、3県の海岸や河川敷、街中に散乱しているごみの調査結果収集のため、「散乱ごみ等の清掃活動・調査」を実施

## ②再エネ、省エネの推進支援

### (太陽光発電設備導入支援)

- ・ 再生可能エネルギーの活用促進のため、県民及び事業者が太陽光発電設備等を導入するための経費を支援
  - ▶岐阜県太陽光発電設備等設置費補助金（県民向け）  
(各市町において受付) 【513件、261,570千円】
  - ▶岐阜県太陽光発電設備等設置費補助金（事業者向け）  
(受付4/5～12/27予定) 【35件、49,430千円】
- ・ 太陽光パネルや蓄電池の共同購入希望者を募集し、一括発注により価格を引き下げ、太陽光パネル等の設置を後押しする事業として、「太陽光パネル・蓄電池共同購入キャンペーン」を実施。
  - ▶個人向け（個人事業者含む）：3/14～9/4、事業所向け：4/9～9/6

### (県内企業の省エネ・再エネに関する相談対応や省エネ診断への支援)

- ・ 省エネ診断を実施する(一財)岐阜県公衆衛生検査センターに対し、再エネ導入等の相談を含め、通年で対応できるよう、支援を継続するとともに、増加する省エネ診断ニーズに対応するため、診断機能を強化

## ③有機農業の推進

- ・ 環境負荷の少ない有機農業により生産された農産物のPR及び販売拡大、また有機農業者と消費者との交流促進を図るため、有機農業者が消費者に直接説明し販売を行う「ぎふオーガニックマルシェ」を開催(11/16、11/17)

## ④森林由来のカーボン・クレジット制度

### (県独自制度「G-クレジット」)

- ・ 県内の適切に管理された森林の二酸化炭素吸収量を県が認証するG-クレジット制度について、初となるG-クレジットを認証し、取引開始(5/14)  
(第1回認証量：538t-CO<sub>2</sub>、第2回認証量：1,214t-CO<sub>2</sub>)

### (国の「J-クレジット」制度)

- ・ 国の「J-クレジット」制度を利用し、県の保有する森林(県営林)の整備による二酸化炭素吸収量を「クレジット」として取得、初となるクレジットの販売を実施(7/10) (岐阜県県営林J-クレジット販売量：295t-CO<sub>2</sub>)

## (2) DXの推進

### ①DX推進に向けた情報発信

- ・ 県及び関係団体が実施するDX支援策、DX関連研修及びオンライン相談窓口を検索できるポータルサイトを、県ホームページ(ぎふDX支援センター内)に開設(3/15)
- ・ DX推進に向けた機運醸成を図るため、産業・文化の両面で先進事例を紹介する「『清流の国ぎふ』DX推進フォーラム」を開催(11/14)

### ②事業者への支援

- ・ 企業の請求業務等のデジタル化とデータ連携による業務効率化を目的に、デジタルインボイス活用推進事業において構築を支援したデジタルインボイスのシステム「PeppoLink」のサービスを開始(11/1)
- ・ 企業が生産性向上や技術開発、新商品・新サービス創出等による企業価値向上を実現することを目的として、岐阜県DXコンソーシアムの会員がワーキンググループを形成して実施する事業経費を支援
  - ▶岐阜県DX推進コンソーシアム ワーキンググループ事業費補助金  
(受付4/22~7/3) 【13件、81,780千円】

### ③市町村支援

- ・ 市町村のDX人材育成、業務見直し(BPR)、システム標準化・共通化等を支援するため、各市町村に対して現状のヒアリングを行い、支援を希望する市町村の意向に沿った支援計画を作成のうえ、デジタル人材を派遣して伴走支援を実施(支援実施市町村数:23市町村)

### ④県の事務効率化に向けた取組み

- ・ 事業者等の利便性向上及び事務負担の軽減を図るとともに、県の事務効率化・簡素化を実現するため、記名押印、紙の製本、対面・郵送による書類の受け渡し等が必要な従来の書面による契約締結事務について、電子契約サービスを全庁導入(4/1)
- ・ 幅広い行政分野から欲しい情報を入手していただけるよう、LINEを活用して、「岐阜県公式LINEアカウント」を開設(4/1)
- ・ 県の事務効率化に向け、オンラインでの決裁完結を可能とする、新たな文書管理システムの運用を開始(4/1)

## (3) SDGsの推進

### ①SDGsの普及啓発

- ・ 企業の持続的な成長・発展を図るため、環境、社会、ガバナンスの3つの要素を重視する経営方法(ESG経営)について学ぶ「『清流の国ぎふ』SDGs推進セミナー」を開催(8/23)

- ・ 「オールぎふ」による取組みを集中的に進めるため、SDGsに取り組む事業者や自治体が連携して、SDGsに関する様々なイベント・キャンペーンを県内各地で実施する「『清流の国ぎふ』SDGsフェスティバル2024」を開催（11/26～R7/1/31）
- ・ また、そのプレイベントとして、「『清流の国ぎふ』SDGs推進フォーラム」を開催し、中央大学法科大学院教授 弁護士 野村 修也氏による基調講演等を実施（11/15）

## ②事業者への支援

- ・ 県内の事業者に対し、SDGsに先進的に取り組む県内事業者・団体等をアドバイザーとして派遣し、SDGsの取組み実績や体験談の紹介、相談・アドバイスをを行う「SDGs推進アドバイザー派遣制度」を創設（5/1）
- ・ 県内企業、団体、NPO等で構成する「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワークの会員が実施するSDGsの普及啓発に資するイベントの開催や情報発信に要する経費を支援
  - ▶ 「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワーク連携促進補助金  
（受付 4/1～11/29）【54件、23,480千円】

## ③「ぎふSDGs推進パートナー登録制度」の広がり

- ・ SDGsに取り組む事業者の裾野を広げるため、昨年創設した「ぎふSDGs推進パートナー登録制度」について、新たに登録された事業者に対し、登録証を授与  
（累計登録事業者数：シルバーパートナー：575者、ゴールドパートナー：112者）

## Ⅱ 暮らしやすい「清流の国ぎふ」の実現

依然として続く物価高騰を乗り越えるため、県民生活や、企業、農畜水産業を支援する経済対策を引き続き実施するとともに、誰もが安心して暮らせるよう、医療・福祉の充実や、生活上の困難に直面している方々への支援を行いました。

また、人口減少・少子高齢化のトレンドが一段と加速する中、子どもを産み育てやすい地域づくりに向け取り組んできたほか、令和5年度に過去最多を記録した県外からの移住者をさらに増やすため、若者向けの移住定住支援の強化を図りました。

### 1 困難な状況からの脱却に向けた経済対策

#### (1) 物価高騰を乗り越えるための支援

##### ①商工業への支援

- ・ 売上げ・利益増加につながる企業力の強化・向上に向けて取り組む県内の小規模事業者を支援し、加えて、賃上げを実施した事業者に対しては補助率を引き上げることで、事業者の賃上げの取組みを後押し
  - ▶小規模事業者パワーアップ応援補助金  
(受付 4/10～5/17) 【152 件、279,738 千円】
- ・ 特別高圧電力契約を行う工業団地協同組合、中小企業及び大型商業施設に入居するテナントに対し、電力使用量に応じ、料金支援を実施
  - ▶岐阜県特別高圧電力負担軽減事業費補助金  
中小企業・工業団地協同組合向け (受付 6/24～7/10) 【18 件、110,248 千円】  
商業施設等に入居する中小企業等向け  
(受付 7/10～9/30) 【76 件、6,287 千円】

##### ②福祉施設等への支援

- ・ 物価高騰により著しい影響を受ける介護保険施設、老人福祉施設等病院、また診療所、助産所、施術所等に対し、食材費や光熱費など持続的なサービス提供に要する費用を支援
  - ▶岐阜県高齢者施設等物価高騰対策支援金  
(受付 5/7～6/7) 【317 件、148,005 千円】
  - ▶岐阜県医療機関等物価高騰対策支援金  
(受付 5/7～6/7) 【2,903 件、154,905 千円】
- ・ 他の職種より給与水準が低く、人材確保や定着が困難な介護・障がい福祉サービス事業所等に勤務する介護・障がい福祉職員、また病院や有床診療所に勤務する看護補助者を対象とした賃上げを実施するための経費を支援

### ③地域公共交通への支援

- ・ 県民生活及び経済活動を支える重要なインフラとして運行を継続している地域公共交通事業者等に対して支援金を交付
  - ▶岐阜県地域公共交通等燃料価格高騰対策支援金  
(受付 7/16～8/30) 【195 件、19,182 千円】

### ④一般消費者への支援

- ・ L P ガス料金の負担軽減事業を延長し、県内で L P ガスを使用する家庭などを対象に、L P ガス販売事業者を通じた値引き支援を再び実施
  - ▶ 支援額：1 契約につき合計最大 4,000 円

## (2) 厳しい状況に直面する農畜水産業への支援

### ①世界農業遺産「清流長良川の鮎」の保全・活用・継承 (コクチバス対策)

- ・ 昨年 1 2 月策定の岐阜県コクチバス駆除総合対策を踏まえ、電気ショッカーボート(清流ガード 1～3 号)を導入(1 号:1/31、2 号:3/14、3 号:5/28)し、漁業協同組合連合会内に駆除作業専門チームを編成するなどコクチバスの緊急対策を強化
- ・ コクチバスの完全駆除の取組みを多くの方に理解いただき、協力をお願いするため、ふるさと納税制度を活用したガバメントクラウドファンディングにより、対策費用の寄附を募集
  - ▶第 1 弾:募集期間 6/15～9/12(寄付金額 152 万円)、
  - ▶第 2 弾:募集期間 12/2～R7/2/28(現在募集中)

### (「清流長良川の鮎」の P R)

- ・ 岐阜県の誇る文化である B B Q を切り口に鮎の消費拡大を図るため、鮎を取り扱う B B Q 場・キャンプ場等を登録し、一体となって P R することで、鮎を食す機運を醸成する「『清流の国ぎふ』B B Q で鮎を食べよう!キャンペーン」を開催(7/22～11/29)
- ・ 日本、中国、韓国の世界農業遺産認定地域と交流し、研究成果や取組成果の共有を図ることを目的に、岐阜県では初となる第 8 回東アジア農業遺産学会を開催(8/8、9)
  - 学会の開催を通じ、世界農業遺産「清流長良川の鮎」の価値を世界へ発信

### ②家畜伝染病への対応

#### (高病原性鳥インフルエンザの発生)

- ・ 県内で家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザが 2 件発生。ともに、国、関係市町、関係団体等の協力を得て、防疫措置を完了
  - (①山県市(1/5):約 5 万羽、②本巣市(11/19):約 1.5 万羽)

#### (家畜伝染病の感染防止対策支援)

- ・ 鳥インフルエンザや豚熱などの家畜伝染病の感染防止対策や殺処分となる家畜の縮減に向け、農場の分割管理などに必要となる施設整備を支援
  - ▶農場等バイオセキュリティ向上総合対策事業費補助金（農場分割管理等推進事業）  
【1件、27,271千円】

#### ③価格高騰への対応

##### (畜産農家への支援)

- ・ 飼料価格の高騰が畜産経営を圧迫しているなか、配合飼料の使用量削減に取り組む畜産農家に対し、飼料価格高騰額のうち農家負担分の一部を支援
  - ▶飼料価格高騰対策緊急支援事業（受付4/30～8/30）【363件、110,409千円】

##### (土地改良区や養殖事業者への支援)

- ・ 農業水利施設を管理する土地改良区などへ高騰する電気料金等の一部を支援するほか、養殖事業者へ配合飼料価格の高騰分の一部を支援  
(養殖事業者への支援20件)

#### ④地産地消の推進

- ・ 消費者の地産地消への意識を醸成するとともに、県内の朝市・直売所の活性化を図るため、朝市・直売所の魅力を発信し、周遊を促す「『清流の国ぎふ』地産地消デジタルスタンプラリー」を初めて実施（10/12～R7/1/13）

## 2 暮らしの安全安心確保

### (1) 医療・福祉の充実と暮らしの安全確保

#### ①新型コロナウイルス感染症等への対応

- ・ 1月に入って急速に増加して「感染警戒期」の水準に達したことに加え、季節性インフルエンザも、昨年11月に約4年ぶりに警報を発表し、感染が広がったことを受け、県民へ向けメッセージ「今冬も感染対策の徹底を」を发出（1/15）
- ・ 6月初旬以降に感染者が増加し、特に7月以降に急増したこと、また、手足口病や溶血性レンサ球菌咽頭炎（溶連菌）等多くの感染症が流行し始めたことを踏まえ、県民へ向けメッセージ「この夏も感染拡大に警戒を ～夏休みを台無しにしないために～」を发出（7/25）
- ・ 8月に入ってからも感染者数が高止まりし、一部の病院において入院患者が集中する等の事態を受け、感染症対策調整本部を開催し、医療機関、消防、保健所等の役割や相互連携について確認（8/7）

## ②新たな感染症危機に向けた対策

### (岐阜県新型インフルエンザ等対策行動計画の改定)

- ・ 政府行動計画の改定 (R6.7.2) を受け、4年超にわたる新型コロナ対応において得た知見や教訓、財産を活かした「本県ならではの」の岐阜県版行動計画への改定 (R7.3) に向けた協議を行うため、各種会議を開催
  - ▶岐阜県新型インフルエンザ等対策推進会議 (9/17、12/11)
  - ▶岐阜県感染症対策専門家会議 (10/17、12/11)
  - ▶岐阜県新型インフルエンザ等対策推進協議会 (10/24、12/11)

### (医療機関等への支援)

- ・ 新興感染症への対応力の強化を図るとともに、その発生時に速やかに対応できる医療提供体制の構築を図るため、県と医療措置協定を締結する医療機関等の開設者が行う施設整備に要する経費に対し補助金を交付
  - ▶岐阜県協定締結医療機関等施設整備費補助金  
(受付 3/21~4/12) 【10件、130,361千円】
  - ▶岐阜県協定締結医療機関等設備整備費補助金  
(受付 3/21~4/12) 【24件、113,503千円】

## ③介護現場における負担軽減に向けた取組み

- ・ 介護サービス事業所等に対して、介護現場における生産性向上に関する相談や専門家派遣、介護ロボット・ICT機器の試用貸出等を随時受け付け、介護現場における生産性向上の取組みを推進するため、ワンストップ型の支援を行う「岐阜県介護生産性向上総合相談センター」を開設 (8/1)
- ・ 介護現場の生産性向上による職場環境の改善を図るため、介護ロボットやICT機器等の介護テクノロジーの導入や定着に要する経費に対し補助金を交付
  - ▶岐阜県介護テクノロジー定着支援事業費補助金  
(受付 9/9~10/18) 【104件、360,955千円】
  - ▶岐阜県障害福祉分野におけるロボット等導入事業費補助金  
(受付 5/17~6/19) 【4件、4,845千円】

## ④医療提供体制の強化と健康づくりの推進

### (医療機関への支援)

- ・ 循環器病の患者の診断を迅速かつ正確に行い、発症から早期に専門的治療を開始する体制を整備するため、医療機関に対して、遠隔で患者の画像データ等を共有できるコミュニケーションアプリの導入に係る経費を補助
  - ▶循環器医療ネットワーク構築事業費補助金 【2件、20,911千円】

### (健康づくりの推進)

- ・ 子宮頸がん検診の受診者 (25歳) の自己負担額を無料とした市町村に対し、自己負担相当額を支援 (上限額 2,000円/人) (実施市町村: 31市町村)

## ⑤ツキノワグマによる被害防止対策の強化

- ・ 6月11日発生したツキノワグマによる人身事故を受け、「岐阜県ツキノワグマ出没注意情報」を発令（6/12）
- ・ 昨年、全国的にクマによる人身被害が多発したことを受け、県と岐阜県野生動物管理推進センターの共催で、シンポジウム「人とクマ、その距離を考える」を開催（9/20）

## ⑥消費者教育の推進

- ・ 高齢者の見守り団体を対象に、高齢者に多いスマートフォンによる消費者トラブル事例等、インターネットを安全に利用するための「高齢者見守り人材向け講座」を開催（11/21、12/4）

# （2）誰もが安心して暮らせる社会の実現

## ①献血運動の推進

- ・ 国民一人一人が献血の重要性を認識し、献血運動が盛り上がることにより、特に若年層の献血気運を高め、我が国の血液事業の一層の推進を図るため、秋篠宮皇嗣妃殿下のご臨席を賜り「第60回献血運動推進全国大会」を開催（7/18）

## ②ヤングケアラー支援

- ・ 気軽に悩みや不安を打ち明け、経験を共有することができる新たな場所を提供し、支援者及び理解者等との交流場所として活用するとともに、ヤングケアラー等の現状を把握し適切な支援へつなぐことを目的とした「ヤングケアラーオンラインサロン」を開催（9/27、10/11、11/8、12/13）
- ・ ヤングケアラーや保護者、支援者等が抱える悩みや問題等について気軽に相談できるようにするため、SNS相談窓口「若者ケアトークルーム（ぎふヤングケアラーSNS相談窓口）」を開設（11/1）

## ③困難な問題を抱える女性に対する支援

- ・ 配偶者やパートナーから受けている様々な暴力に悩んでいる方がより相談しやすいよう、「岐阜県DV専用ダイヤル」を開設（11/1）

## ④児童養護施設に入所する児童等への支援

- ・ 自立困難に陥りやすい児童養護施設の退所児童などに対し、生活相談のほか退所児童の相互交流などを通じて自立を支援する拠点を設置（4/1）
- ・ 児童養護施設などの生活や措置について、子どもが意見や考えを表明できるよう、支援員が施設などを定期的に訪問する体制を整備
- ▶R6.11～R7.1にかけて県内12施設に支援員が訪問し、事業説明会を実施

## ⑤ひきこもり当事者、家族への支援

- ・ 「ひきこもり地域支援センター」において、当事者や家族への個別相談支援、ひきこもりサポーターの養成を行うため、「ひきこもりサポーター養成講座」を開催（10/3、11/21）

## ⑥ひとり親家庭等への支援

- ・ 「ひとり親家庭等就業・自立支援センター」において、養育や心の悩みに対する相談対応、就業に関する支援として「就業支援セミナー」を実施するほか、企業向けに「ひとり親家庭の親が安心して働ける職場セミナー」を開催（2/8）

# 3 少子化対策の推進

## (1) 子どもを産み育てやすい地域づくり

### ①岐阜県こども計画の策定

- ・ 「岐阜県こども計画」の策定など、こども施策を総合的に推進することを目的に各種会議を開催
  - ▶こどもまんなか・ぎふ推進会議（第1回：6/21、第2回：9/5、第3回：11/19）
  - ▶岐阜県こども政策推進本部本部員会議（第1回：6/17、第2回：9/3）

### ②結婚支援

- ・ 新婚世帯に対し、結婚に伴う住宅取得や引っ越し等、新生活のスタートアップを経済的に支援している市町村への補助を実施（実施市町村：26市町村）
- ・ 結婚を希望する独身の方を支援する「ぎふマリッジサポートセンター」の認知度向上を図るため、婚活サポーター等と連携し、県内5圏域でイベント「マリサポ・カフェ」を開催（岐阜：11/24、西濃：12/7、中濃11/4、東濃11/30、飛騨12/14）
- ・ 結婚や子育てに対する前向きな意識の醸成や不安の解消を図るため、大学生や社会人に子育て家庭を訪問してもらい、子育てを体験してもらうプログラム「家庭留学事業」を実施（5/31～7/2/28）

### ③妊娠・出産支援

- ・ 保険を適用して行った特定不妊治療及び特定不妊治療に伴い保険を適用して行った男性不妊治療に対し、支払った医療費（3割負担分）について、10万円を上限に助成
  - ▶特定不妊治療助成事業【2,710件、207,676千円】
- ・ 夫婦1組あたりの出生数の増加と子育ての経済的負担の軽減を図るため、第2子以降の出生児1人あたり10万円の祝金を支給
  - ▶第2子以降出産祝金【6,595件、659,500千円】

### ④子育て支援

- ・ 中学校卒業後の進学や就職等の準備費用に対する経済的負担の軽減のため中学校3年生児童1人当たり3万円の支援金を支給
  - ▶高等学校就学準備等支援金【18,173件、567,459千円】
- ・ 10月から、国の少子化対策の加速化による児童手当の所得制限の見直し、対象年齢の18歳までの拡充、第3子以降の給付額の引き上げにあわせ、県の児童手当負担分を拡充
- ・ 私立高等学校などの授業料に対する補助制度の対象世帯について、これまでの世帯年収800万未満から910万円未満に拡充

## (2) 若者向けの移住定住対策の強化

### ①移住者に対する支援策の推進

- ・ 岐阜県以外の都道府県から岐阜県へ移住し、定住意思のある方を対象に引越などに要する移住経費を支援する「清流の国ぎふ移住支援事業費補助金」について、18歳未満の世帯員を帯同する場合に、「300千円/世帯」を加算
- ・ 3大都市圏で開催される移住フェアへの出展や、移住希望者向けのセミナー（オンライン併用）を実施

### ②県内就職促進に向けた学生への支援

#### (県内企業に就職する若者への支援)

- ・ 県内の高等学校を卒業して県外大学等に進学した県外在住の方で、卒業後に県内に居住し、かつ、県内で就業すること等を条件に返還を免除する奨学金を貸与
  - ▶清流の国ぎふ大学生等奨学金（募集 4/8～5/31）【330件、235,740千円】
- ・ 県内企業に就職する35歳未満の若者に対し、県と企業が連携して大学などの在学時の奨学金返還を支援する制度を創設 再掲
  - ▶ぎふ若者定着奨学金返還支援制度（受付 6/1～：56社登録）

#### (医学生への修学資金や専門研修中の医師への研修資金の貸付)

- ・ 医学生や専門研修中の医師に対し、卒業後や専門研修後に県内医療機関で勤務するなどの条件を満たした場合に、返還を免除する資金の貸付けを実施 再掲
  - ▶岐阜県医学生修学資金貸付制度（1種）  
（受付 4/1～5/31）【新規貸付：（岐阜県コース）22件、2,018千円、  
（地域医療コース）6件、3,218千円】
  - ▶岐阜県医学生修学資金貸付制度（2種）（受付 4/1～5/31）【新規貸付 4件、1,200千円】

#### (看護学生に対する修学資金貸付制度の創設)

- ・ 県内の看護師等養成所で学ぶ看護学生に対し、卒業後に県内医療機関で勤務するなどの条件を満たした場合に、返還を免除する制度を創設 再掲
  - ▶岐阜県看護学生修学資金貸付制度  
（一次受付 10/1～10/31）【62件、21,864千円】  
（二次受付 11/12～11/29）【8件、2,688千円】

#### (県内小中学校の新規採用教員への奨学金の返還支援)

- ・ 県内高校などを卒業し、県内小中学校に新規採用された教員のうち7年以上の勤務を予定する者に対し、大学時の奨学金の返還を支援 再掲
  - ▶岐阜県教員確保推進事業費補助金（受付 R6 3/26～R6 4/30）【内定 40人】

### Ⅲ 「清流の国ぎふ」の魅力向上と発信

「清流の国ぎふ総文2024」では、全国や海外からの約2万人の高校生を含め、県内外の関係者あわせて約10万人が参加するとともに、「『清流の国ぎふ』文化祭2024」では、280万人を超える文化の大交流が実現しました。また、これまで交流してきた各国・地域に加え、日本の知事として初めて訪問したウズベキスタンからも訪問団を派遣していただき、世界に開かれた文化の交流を展開してきました。

さらに、インバウンドや国内誘客の取組みを引き続き進めてきたほか、木曾川中流域観光の活性化に向けた取組みをはじめとして、地域の新たな魅力創出にも取り組んできました。

#### 1 清流文化の創造・発信

##### ① 「清流の国ぎふ総文2024」の開催

- ・ 総合開会式、パレードのほか、「演劇」、「合唱」など19の規定部門に、県独自の「花いけバトル」、「郷土研究」、「特別支援学校」の3部門を加え、合わせて22の部門別行事を開催（7/31～8/5）
  - ▶ 秋篠宮皇嗣同妃両殿下並びに悠仁親王殿下の御臨席を賜り、総合開会式を開催（7/31）
  - ▶ 大会は、青春（アオハル）真っ只中の高校生が主体となって企画、運営
  - ▶ 全国や海外から約2万人の高校生を含め県内外の関係者あわせて約10万人が参加
  - ▶ 県勢では、11部門、団体：16団体、個人：10人で入賞するなど、本県高校生が大いに活躍

##### ② 『清流の国ぎふ』文化祭2024」の開催

- ・ 県内42市町村で330の多彩な文化プログラムを開催し、国内外から延べ約280万人を超える方々が参加（10/14～11/24）
  - ▶ 天皇皇后両陛下の御臨席を賜り、開会式を開催（10/14）
  - ▶ 文化祭で初めて、アート体験による身体と心のケアを図る「文化的処方」に関するシンポジウムを開催（10/16）
  - ▶ 障がいのある人もない人も誰もが参加でき、誰もが文化の担い手になる「文化芸術共創プログラム」の総括フォーラムを開催（11/3）
  - ▶ 閉会式では、文化祭を振り返りながら、次期開催県である長崎県の大石知事へ「大会旗」を引き継ぎ。また、「清流の国ぎふ憲章」の「知」「創」「伝」に、「ともに」の象徴として、「共」の文字を新たに加える（11/24）
- ・ 日比野克彦総合プロデューサーのもと、広報活動及び県民運動を展開
  - ▶ 「清流文化地域推し活動（愛称：ちーオシ）」として、地域の「推し」を見つけ出し、「ちーオシスタチュー」としてオブジェを作り上げ、開会式に持ち寄って披露するアートプロジェクトを実施。県内全42市町村で「コミュニケーター」が中心となって、住民協働で制作し、開会式において披露

- ▶ 多様な“岐阜の文化”の掘り起こしに繋がるよう、皆さんが“推す”岐阜の文化の写真や動画を、指定のハッシュタグ（#わたしの清流文化）をつけてインスタグラムに投稿する参加型の企画「#わたしの清流文化プロジェクト」を実施
- ▶ 文化祭のテーマソング「君が明日と呼ぶものを」を、県内でたくさんの人が聴き、歌い、奏でることで、開催機運を盛り上げる「『君が明日と呼ぶものを』全県運動」を実施
- ▶ 文化祭をPRする新しい仕掛けとして、公式ポスターの一コマからはじまる「清流が文化をつないでいく」物語を考えて、ストーリー仕立てのアニメやポスターを段階的に発表していく取組み「ともに・つなぐ・みらいへ→PR 2.0プロジェクト」を実施

### ③地芝居・伝統芸能フェスティバルの開催

- ・ 本県で受け継がれてきた地芝居や伝統芸能の魅力を伝えるため、「ぎふ清流座」や県内の芝居小屋、舞台で47の公演を開催（9/1～11/24）
- ・ 特に、9/23には、「地芝居大国ぎふ応援大使」に就任いただいた、中津川市出身で歌舞伎俳優の市川 笑三郎さんをお招きして「地歌舞伎公演市川笑三郎トークショー」を、また11/12には、歌舞伎俳優の中村獅童さんをお招きして「中村獅童トーク&歌舞伎舞踊」を開催

### ④「匠の国ぎふ」の技の継承及び人材育成

- ・ 県内地場産業で使われている道具と、その道具が生み出す製品の魅力を紹介する展示や匠の道具への興味・関心の醸成に向けたワークショップなどを実施する「『匠の国ぎふ』の技を支える道具展」を開催（10/14～11/24）

### ⑤『清流の国ぎふ』文化祭2024」に合わせた県産品等のPR

- ・ 本県の鮎の食文化の一層の発展と鮎の消費拡大とブランド力の向上を加速させるため、鮎料理を提供する飲食店等を募集・登録し、PRすることで鮎を食す機運を醸成する「『清流の国ぎふ』鮎料理フェア」を開催（7/16～11/29）

### ⑥万博に向けた関西圏での県産品のプロモーション強化

- ・ 令和7年に開催される大阪・関西万博を見据え、県産品の販路拡大を目的として、関西圏にて、期間限定で各期のテーマにあった県産品の展示販売を実施
  - ▶ なんばグランド花月前広場「YES 広場」（9/21、22）
  - ▶ 大阪駅前ダイヤモンド地下街「ディースクエア ディアモール大阪」（10/22～10/28）

### ⑦「スポーツ立国・ぎふ」の推進

#### （オリンピック・パラリンピックでの岐阜県ゆかりの選手の活躍）

- ・ パリ2024オリンピック・パリ2024パラリンピックに岐阜県ゆかりの選手として、オリンピックには17名、パラリンピックには3名の選手が出場  
オリンピックでは銅メダルを含めて4名の選手が入賞し、パラリンピックでは2名の選手が入賞

## ■パリ2024オリンピック

- ▶ 馬術競技総合馬術 団体銅メダル、個人5位入賞：戸本 一真 選手
- ▶ 陸上競技男子走高跳 5位入賞：赤松 諒一 選手
- ▶ アーチェリー男子団体 8位入賞：斉藤 史弥 選手
- ▶ 自転車競技男子 チームスプリント5位入賞、  
男子スプリント6位入賞：小原 佑太選手

## ■パリ2024パラリンピック

- ▶ テコンドー競技男子70kg級 5位入賞：工藤 俊介 選手
- ▶ 車いすバスケットボール競技女子 7位入賞：大津 美穂 選手

### (高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン2024の開催)

- ・ 市民ランナーら7,635名が参加(4/28)。また、ハーフマラソンとして初めてワールドアスレティックス(世界陸連/WA)のラベリング制度で最上位のプラチナラベルを取得したタイのハーフマラソン「バンセン 21」と提携(4/27)

### (RIE KANETO Memorial Cup 2024の開催)

- ・ 2016年リオデジャネイロオリンピック200m平泳ぎ金メダリスト金藤理絵氏を迎えて昨年新設した「RIE KANETO Memorial Cup」について、今年は未来を担うジュニア層を対象として開催し、537名の選手が参加(8/12)

## ⑧全国的な大会開催に向けた準備の促進

### (ねんりんピック岐阜2025)

- ・ 令和7年10月18日～21日に本県で開催する「ねんりんピック岐阜2025」の開催機運の醸成を図るため、開催1年前イベントを開催(11/23) 応援大使の流れ星☆氏や勅使川原 郁恵氏によるステージイベントや、ねんりんピック種目体験コーナーを実施
- ・ 「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」の総合閉会式において、平井鳥取県知事から大会旗の引継ぎが行われるとともに、次期開催地アトラクションでユネスコ無形文化遺産の「郡上おどり」を披露(10/22)

### (第42回全国都市緑化ぎふフェア)

- ・ 令和7年4月23日～6月15日に本県で開催する「第42回全国都市緑化ぎふフェア」のPRとして、「都市緑化キャンペーン2024」(東京・有楽町)において「ミナモ」のステージイベントや、フェアオリジナルノベルティ(ローズ花束タオルハンカチ)や花鉢等の配布を実施(10/4)
- ・ 花・みどりの活動を県内各地に広げ、活動が持続的に発展していくために創設した花・みどりの活動に関わる人と情報の交流プラットフォーム「ぎふグリーン・ライフパートナーズ」の取組みの一環として、花・みどりの普及に賛同する県民や企業・団体を「ぎふグリーン・ライフパートナー」として募集(8/28)

## 2 観光・交流の推進

### (1) インバウンド、国内誘客の推進

#### (フランスでのトップセールス)

- ・ 訪日旅行会社「Japan Experience」を訪問し、地方への誘客戦略や新たな体験商品の造成等に関する意見交換を実施（10/21）
- ・ 国、ジェトロや全国知事会と連携し、オールジャパンで行う海外プロモーションの一環として、フランスでの世界最大級の総合食品見本市「SIAL Paris 2024」に参加。会場に岐阜県ブースを設け、飛騨牛寿司や栗きんとん等のPRを実施（10/21）《トップセールス》 **再掲**  
また、駐フランス日本国大使公邸において、現地旅行会社やメディア等に向け「日本ならではの観光と食」キャンペーンを実施し、本県は富山県とコラボした飛騨牛握り寿司や、日本酒「玉柏」純米大吟醸を提供（10/22）《トップセールス》 **再掲**
- ・ 現地有名レストラン「アストランス」において、シェフや流通事業者などの業界関係者等を招待し、飛騨牛や初輸出した鮎などの食材の魅力を引き出したメニューを提供（10/22）《トップセールス》 **再掲**
- ・ ワイン等酒類専門家養成学校 IFCO パリ校において、県酒造組合連合会及びフランスの日本酒コンクール主催団体（Kura Master 協会）と連携し、日本酒セミナーを開催（10/23）《トップセールス》 **再掲**

#### (海外重点市場の現地旅行会社等との連携による県内旅行商品の造成)

- ・ “もう一泊”していただく旅行商品の造成・販売を目指し、県内の観光事業者と訪日旅行商品を取り扱う国内のランドオペレーターとの「岐阜県インバウンド商談会」を開催（7/5）
- ・ 訪日旅行会社「Japan Experience」を招請し、県内観光地のPR動画を撮影（10/1～4）
- ・ アジアで初めて大阪で開催された「IGLTA 世界総会 2024」に参加し、現地旅行会社との商談やPRを行ったほか（10/23）、現地旅行会社等を岐阜県に招請（10/27～10/30）
- ・ 米国の現地PRエージェンシーと連携し、米国大手コンソーシアムが開催する商談会への参加、旅行業界向けメディア等へのセールス、テーマ性の高い旅行商品の造成・販売等を実施
- ・ 豪州の現地PRエージェンシーと連携し、現地旅行会社へのセールス、現地旅行業界向けメディア関係者の招請（11/26～29）、その他ウェブ・メール等による情報発信を実施

#### (世界の海外旅行フェア等への出展)

- ▶ スペイン・マドリード「FITUR2024」（1/24～1/28）
- ▶ タイ・バンコク「Thai International Travel Fair (TITF#29)」（1/25～1/28）
- ▶ フィリピン・マニラ「Travel Tour Expo (TTE) 2024」（2/2～4）

- ▶ 米国・ロサンゼルス「Los Angeles Travel & Adventure Show (LATAS) 2024」 (2/3、4)
- ▶ シンガポール「NATAS Travel2024」 (3/1～3)
- ▶ フランス・パリ「Salon Mondial du Tourisme (SMT) 2024」 (3/14～3/17)
- ▶ マレーシア・クアラルンプール「Malaysian Association of Tour & Travel Agents Fair (MATTA FAIR)」 (3/22～3/24)
- ▶ 香港「International Travel Expo Hong Kong (ITE) 2024」 (6/13～6/16)
- ▶ シンガポール「NATAS HOLIDAYS 2024」 (8/16～8/18)
- ▶ 豪州・シドニー、ブリスベン及びニュージーランド・オークランド「Japan Road Show2024」 (8/26～29)
- ▶ マレーシア・クアラルンプール「MATTA FAIR September 2024」 (9/6～9/8)
- ▶ 東京「ツーリズムE X P O ジャパン 2024」、「VISIT JAPAN トラベル & MICE マート 2024」 (9/26～9/29)
- ▶ 台湾・台北「2024 台北国際旅行博 (ITF)」 (11/1～11/4)
- ▶ タイ・バンコク「第 16 回 FIT フェア (Visit Japan FIT Fair #16)」 (11/8～11/10)
- ▶ 台湾・高雄「高雄市旅行公会国際旅展」 (11/29～12/2)

#### (アジア最大級の体験予約サイトにおける岐阜県人気)

- ・ アジア最大級の体験予約サイト「KKday」の予約データにおける「2024年の春節(旧正月)休暇で人気の日本の都道府県ランキング」で、岐阜県が5位。白川郷や飛騨高山が非常に人気であるほか、スキー場なども多くの予約があり、前年比200%以上増加

#### (近隣県とタイアップした広域周遊キャンペーンの実施)

- ・ 岐阜・滋賀の酒蔵を巡る「滋賀×岐阜 酒蔵めぐりスタンプラリー」を開催 (10/19～R7/2/28)
- ・ 岐阜・滋賀・福井の「鉄道」を題材とした「3県推し鉄フォトコンテスト」を Instagram で開催 (10/15～R7/1/31)
- ・ 岐阜・愛知の産業観光・武将観光施設を周遊する「あいちとぎふ 見にトリップ×戦トリップスタンプラリー」を開催 (7/19～R7/2/28)

#### (高山本線全線開通90周年記念事業)

- ・ JRグループと連携し、全国の主要駅において岐阜県観光5連貼りポスターを掲出 (7/1～7/31)
- ・ 高山本線沿線の地元高校生がデザインしたヘッドマークや車内ポスターを掲出した特別列車「ぎふ旅×ひだ号」を運行 (10/26 から約1か月間)
- ・ 高山市と連携し、TVアニメ「氷菓」のゆかりの地をめぐるスタンプラリーを開催 (10/25～R7/1/25)

### (電子観光クーポン「ぎふ旅コイン」による観光消費拡大等)

- ・ 観光消費を拡大するため「ぎふ旅コイン」に宿泊限定ポイントを新設し、キャンペーンを展開  
(「プレミアム付きぎふ旅コイン」第1弾：5/27～6/17、第2弾：9/30～10/14、11/18～12/1)
- ・ NEXCO中日本と連携し、岐阜県内の高速道路が、連続する2日間もしくは3日間乗り放題となる「ぎふ旅コイン付ドライブプラン」を実施(7/1～R7/2/28)

## (2) 国際交流の深化

### ①ウズベキスタン

- ・ 日本の知事として初めてウズベキスタンを訪問し、アブドゥラ・アリーポフ首相らと今後の交流の方向性について意見交換したほか、サマルカンド州との間で今後の交流に向けた基本合意書を締結(7/19～21)《トップセールス》
- ・ サマルカンド州から政府関係者をお迎えし、ウズベキスタンの経済・投資、観光・文化に関するセミナーを開催(11/9)

### ②ドイツ

- ・ 木曾川中流域の観光振興に向け、コブレンツ市を訪問し、ライン川観光のプロモーションや、街の緑化を始めとした景観の整備等について意見交換(7/23)《トップセールス》
- ・ 温泉、森林や滝などの豊かな自然と、伝統文化などの資源を複合的に活用した宿泊滞在型の地域づくりに向け、ドイツ有数の健康保養地であるバート・ナウハイム市、バート・キッシンゲン市等のクアオルトを訪問し、各市長等とクアオルトの取組みについて意見交換(7/22～7/24)《トップセールス》

### ③韓国

- ・ 韓国政府の「海外要人招聘事業」により、京畿(キョンギ)世界陶磁ビエンナーレが開催されている利川(イチョン)市や、首都機能が移転されている世宗(セジョン)特別自治市、アフリカ豚熱の水際対策にかかる意見交換等のため釜山広域市などを訪問(9/10～9/12)《トップセールス》

### ④ポーランド

- ・ 昨年「経済、観光、スポーツ、文化」の4分野を軸とした友好交流の覚書を締結したシロンスク県を拠点に活動する、ポーランド国立民族合唱舞踊団「シロンスク」が県内2か所で公演を開催(恵那公演：10/10、岐阜公演：10/11)
- ・ シロンスク県を紹介する写真パネル展を実施(9/10～10/9)
- ・ 小学校や高等学校において児童・生徒を対象としたポーランド舞踊のワークショップを開催(10/10、10/11)
- ・ THE GIFTS SHOPにおいて、ポーランド物産展を開催(11/1～11/10)

## ⑤フランス

- ・ ガストロノミーウォーキングの本場であり、昨年に新たに協力協定を締結したアルザス欧州自治体と連携し、「ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 飛騨高山」を開催（10/16）
- ・ アルザス地方のワインが楽しめる「アルザスワインナイト」を開催（11/23、11/24）
- ・ THE GIFTS SHOPにおいて「フランス・アルザス物産展」を開催（11/15～11/24）

## ⑥リトアニア

- ・ リトアニアの魅力を発信するイベント「リトアニアNOW2024」を開催し、オープニングイベントでは、杉原千畝ゆかりのカウナス市を拠点とするフォークダンス・アンサンブル「ネムナス」によるコンサート等を開催（10/18～11/15）
- ・ 会期中は、リトアニア出身の国際交流員による「リトアニア文化教室」を開催（10/26、11/3）したほか、アクティブGなどでリトアニアの風景や伝統工芸等を紹介する写真パネル展や、THE GIFTS SHOP等で物産フェアを開催（10/18～10/27）

## ⑦ハンガリー

- ・ 「ぎふ・リスト音楽院マスターコース」創設30年目を記念して、その修了生と、ハンガリーの名門 リスト音楽院のオンツァイ教授、ファルヴァイ教授、サバディ教授による華やかなクラシックコンサートを開催（11/2）
- ・ ハンガリーを拠点に活動する陶芸作家と岐阜を拠点に活動する陶芸作家の3名が、両国を行き来し、それぞれの土地をみて・ふれて感じた、国際交流の成果を展示する共同展覧会「Ways of Earth ハンガリー・日本陶芸作家交流展」を開催（10/18～11/17）

## ⑧中国・江西省

- ・ 岐阜県と友好提携を結ぶ中国・江西省から芸術団が来日し、「木偶劇」（中国における人形劇）の公演を開催（11/2）

## ⑨モロッコ

- ・ ぎふワールド・ローズガーデン内「モロッコガーデン」周辺にて、モロッコの手工芸品の展示やモロッコの食文化を紹介するデモンストレーションなどを開催（11/2～3）
- ・ ラシャッド・ブフラル駐日モロッコ王国特命全権大使をお招きし、モロッコの魅力を紹介する講演会を開催（11/4）

### 3 地域の新たな魅力創出

#### ①中部山岳国立公園をはじめとする「松本高山Big Bridge構想」の展開

- ・ 3千メートル級の乗鞍岳や槍・穂高連峰、山麓の五色ヶ原や平湯大滝、奥飛騨温泉郷など、中部山岳国立公園及びその周辺の自然、観光、文化等の魅力を発信するとともに、地域の自然を生かした自然体験や交流の場を提供し、旅の拠点となる「中部山岳国立公園奥飛騨ビジターセンター」をリニューアルオープン（7/13）
- ・ 奥飛騨エリアの首都圏における認知度向上と、さらなる誘客を図るため、池袋パルコ内にある「HIS The ROOM of journey IKEBUKURO」において観光PRイベントを開催（7/26～8/25）

#### ②「清流の国 文化探訪『南飛騨 Art Discovery』」の開催

- ・ 美濃と飛騨の結節点である下呂市の南飛騨健康増進センター一帯において、自然、歴史、文化などの様々な地域資源を掘り起こし、アートの方によって地域の新しい価値を見出すアートプロジェクト「清流の国 文化探訪『南飛騨 Art Discovery』」を開催（10/19～11/24）
- ・ 21組のアーティストによる地域の特徴を活かした作品の展示、パフォーマンスイベントを実施するほか、「岐阜の匠」、「健康」、「福祉」、「食」をテーマとした体験型・交流型マルシェなども開催

#### ③岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の魅力向上

- ・ 航空や宇宙の最新情報等を紹介する本格的な企画展を開催できるよう、新企画棟「スペースボックス」（展示場面積：約400㎡）を整備（9/20）
- ・ そのこけら落としとして、「清流の国ぎふ」文化祭2024の開幕に合わせた特別企画展「月への挑戦—アポロ計画から50年、人類は再び月を目指す—」を開催（10/12～11/3/9）

#### ④木曾川中流域の地域資源を活かした観光地域づくり

- ・ 県及び流域5市町の官民連携組織「木曾川中流域観光振興協議会」において、木曾川ならではの川下り復活など、今後の取組みの方向性を確認（9/5）
- ・ 木曾川中流域エリア一帯を舞台に、「日本ライン・KISOGAWA River to Summit 2024」を開催し、木曾川の絶景と地元グルメを楽しみ、渡し船も体験できるガストロノミーウォーキング、ジェットボートなどの水上アクティビティ、木曾川中流域を1周するサイクリングイベントなどを実施（10/26、27）

#### ⑤「国際陶磁器フェスティバル美濃'24」の開催

- ・ 日本を代表する陶磁器産地である多治見市、瑞浪市、土岐市、可児市を会場に「国際陶磁器フェスティバル美濃'24」を開催（10/18～11/17）
- ・ 開会式には佳子内親王殿下にご臨席を賜るとともに、「土と炎の国際交流」をメインテーマに、世界四大陶磁器コンペティションの一つでもある「国際陶磁器展美濃」をはじめ、セラミックパークMINOをメイン会場に、計7会場で開催

## ⑥「知の大交流」の開催

- ・ 各分野の第一線で活躍する文化人・知識人が一堂に集まり「知の大交流」を図る「エンジン03 in 岐阜」を岐阜市、大垣市、各務原市において開催（9/7、8）
- ・ 今回は前回から倍近い28名の講師を招き、文化イヤーをテーマとしたシンポジウムや、各地域の特性も踏まえた講座を行ったほか、3市内の飲食店において、講師と参加者が酒食をともに語り合い、交流を深めるプログラム「夜楽」を初めて実施

## ⑦薬草文化の魅力発信

- ・ 伊吹山麓の薬草文化の魅力を県内外の多くの人に発信するため、県と揖斐川町が連携し、2日間にわたり薬草フォーラムを開催（10/30、31）
- ・ 町主催フォーラムではブルー&グリーンプロジェクト実行委員会会長で安倍元首相夫人の安倍昭恵氏を、県主催フォーラムでは国際薬膳師でタレントの麻木久仁子氏をお招きし、講演・トークセッションを行うとともに、薬草マルシェを開催

## ⑧岐阜関ヶ原古戦場古戦場記念館を核とした戦国・武将観光の推進

- ・ 関ヶ原古戦場の魅力を発信する「大関ヶ原祭2024」を開催。オープニングの「関ヶ原ナイト2024」では、夜の関ヶ原古戦場を舞台に、竹下景子さんの朗読のもと、関ヶ原の戦いを描く一夜限りの野外朗読劇を公演（9/7）
- ・ メインイベントでは、定番のイベントのほか、関ヶ原研究大会として、多摩大学客員教授の河合敦さんによる基調講演や、関ヶ原合戦の研究者によるパネルディスカッションを行うとともに、世界三大古戦場交流を進める米国のゲティスバーグ、ベルギーのワーテルローから関係者を招いた海外古戦場スペシャルトークを実施（10/19、20）

## ⑨サステイナブル・ツーリズムの推進

- ・ サステイナブル・ツーリズムの国際認証団体「グリーン・デスティネーションズ」が実施するグリーン・デスティネーションズ・アワードの「シルバーアワード」を高山市が受賞（9/30）
- ・ UN Tourism（世界観光機関）が推進する「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」の国内認定地域等が参画した「日本版ベスト・ツーリズム・ビレッジ連携協議会」の第1回総会・シンポジウムが白川村にて開催（11/26）

## 2024年 主な受賞実績一覧

## &lt;スポーツ&gt;

(敬称略)

## ○パリ2024オリンピック競技大会 (7/26~8/11) 県ゆかりの選手

- ・馬術 総合馬術団体 銅メダル 戸本 一真  
総合馬術個人 5位入賞
- ・陸上 男子走高跳 5位入賞 赤松 諒一
- ・自転車トラック 男子チームスプリント 5位入賞 小原 佑太  
男子スプリント 6位入賞
- ・アーチェリー 男子団体 8位入賞 斉藤 史弥

## ○パリ2024パラリンピック競技大会 (8/28~9/8) 県ゆかりの選手

- ・テコンドー 男子70キロ級 5位入賞 工藤 俊介
- ・車いすバスケット 女子 7位入賞 大津 美穂

## ○令和5年度全国高等学校選抜大会 (3/16~3/19、3/27~3/29) 優勝

- ・岐阜農林高校2年 田島 徳文 (相撲 体重別個人戦 80kg級)
- ・多治見西高校 (ソフトボール 女子)
- ・高山西高校1年 堤 大智 (レスリング 男子71kg級)

## ○令和6年度全国高等学校総合体育大会 (7/21~8/20) 優勝

- ・岐阜総合学園高校 (フェンシング 女子学校対抗)
- ・岐南工業高校 (自転車トラック 男子4km チーム・パーシュート)
- ・聖マリア女学院高校 (アーチェリー 女子団体)
- ・加茂高校 (ローイング 女子舵手付きクォドルプル)
- ・済美高校2年 横山 大輝 (体操 男子個人種目跳馬)
- ・中京高校3年 小川 凜佳 (レスリング 女子50kg級)

## ○第78回国民スポーツ大会スケート競技会「とまこまい国スポ2024」 (1/27~1/31) 優勝

- ・(公財)恵那市体育連盟 遠藤 二千翔 (スピードスケート 成年男子5000m)

## ○第78回国民スポーツ大会「SAGA2024」 (9/5~9/17、9/21~10/1、10/5~10/15) 優勝

- ・岐阜選抜 (ローイング 少年男子舵手付きクォドルプル)
- ・八百津町役場 鈴木 侑也 (カヌー・ワイルドウォーター 成年男子K-1 スプリント)
- ・済美高等学校2年 篠田 瑛斗・石田 紬葵  
(ライフル射撃 少年ビームライフルミックス)
- ・済美高等学校2年 石田 紬葵 (ライフル射撃 少年女子BR60WJ)
- ・済美高等学校3年 柚木 泉 (ライフル射撃 少年女子BP60WJ)
- ・岐阜選抜 (フェンシング 成年女子フルーレ)
- ・岐阜朝日クラブ (ホッケー 成年男子)
- ・岐阜各務野高校 (ホッケー 少年女子)
- ・中京高校 (特別競技 高校軟式野球)
- ・八百津高校3年 野田 陸斗 (カヌー・スプリント 少年男子K-1 500m)
- ・大野町立揖東中学校3年 長谷部 光輝 (陸上 少年男子B 走幅跳)

- 第36回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取2024）（10/19～10/22）優勝
  - ・岐阜県選手団 竹下 龍彦（50m自由形 80～84歳 男）
  - ・岐阜県選手団 小川 博隆（50mバタフライ 75～79歳 男）
  - ・岐阜県選手団 細谷 純一（将棋 個人戦）
  - ・岐阜県選手団 MC加茂 （ソフトバレーボール 男女混合チーム）

## <防災>

- グランプリ・レジリエンスジャパン推進協議会長賞  
（清流の国ぎふ防災・減災センター）（4/23）【県事業】  
センターにて行っている「げんさい未来塾」の卒塾生が、令和5年度から外国人防災リーダー育成講座や介護施設の避難確保計画伴走支援事業に講師として関わるなど、地域の防災人材育成等に関わる取組みが評価された。
- 令和6年度土砂災害防止功労者（国土交通大臣表彰）  
（岐阜大学名誉教授 木村 正信）（6/6）  
大学での土砂災害防止の研究やさぼう遊学館（県有施設）での砂防学習指導員としての活動が評価され、令和6年6月の土砂災害防止「全国の集い」にて土砂災害防止功労者として表彰された。

## <環境>

- 令和6年度第58回全国野生生物保護活動発表大会 環境大臣賞  
（大垣北高校自然科学部オオサンショウウオ班）（11/27）

## <文化>

- オリジナル雑煮コンテスト「第2回 Z-1グランプリ」グランプリ  
（城南高校3年 富成 柚凪）（6/1）
- 第48回全国高等学校総合文化祭（清流の国ぎふ総文2024）
  - ・弁論部門 最優秀賞・文部科学大臣賞（岐阜北高校3年 古田 桃香）（8/2）
  - ・パレード部門 グッドパレード賞（岐阜商業高校、美濃加茂高校）（8/2）
  - ・郷土研究部門（研究発表：歴史・考古部門） 最優秀賞  
（加納高校地域研究部、関高校地域研究部）（8/2）
  - ・郷土研究部門（ポスター部門）最優秀賞（関市立関商工高校建設工学部）（8/2）
- ブラチスラバ国際チェロコンクール 優勝（清水 陽介）（9/12）
- 令和6年度文化功労者（陶芸家 鈴木 藏）（11/3）

○「2024 森光子の奨励賞」(美濃歌舞伎博物館 相生座館長 小栗 幸江) (11/10)

○Ikenobo 花の甲子園2024 優勝(岐阜商業高校 茶華道部) (11/17)

## <商工業>

○国際ナショナル・ワイン・チャレンジ(IWC)2024 純米酒部門のトロフィー(同部門の最高賞)  
(「恵那山 純米」(はざま酒造(株) 中津川市) (6/6))

○第43回全国障害者技能競技大会(全国アビリンピック) (11/24)

・製品パッキング競技 銀賞((株)OKBパートナーズ 宇野 智貴)

・フラワーアレンジメント 銅賞(アピ(株)アピパートナーズいび 高橋 璃沙)

○全国知事会先進政策バンク 優秀政策(デジタル部門) (11/25) 【県事業】

岐阜県独自で「産金官連携によるデジタルインボイス活用事業」に取り組んだことが評価された。

## <観光、国際交流>

○観光甲子園2023「SDGs 修学旅行部門」グランプリ(郡上高校) (2/4)

担い手が減りつつある郡上おどりの次世代への継承を課題と捉え、スクリーン印刷のオリジナル手ぬぐい作りや、下駄作り、郡上おどりへの参加などを盛り込み、おどりを通して他地域の修学旅行生と地域住民が繋がる仕組みをプレゼン。郡上おどりの継承をテーマに盛り込んだプランが評価された。

○2024年グリーン・デスティネーションズ・アワード 「シルバーアワード」

(高山市) (9/30)

持続可能な観光地域づくりの評価指標6分野のうち「観光地管理」、「環境と気候」、「文化と伝統」、「社会福祉」の4分野で高評価を受けた。

○第5回日米協会金子堅太郎賞(岐阜県日米協会常務理事 河合 雅子) (10/15)

長年、市民レベルの日米交流に携わり、国際交流・協力分野で、草の根レベルでのボランティア活動を企画・実行してきたことが評価された。

## <農畜水産業>

○第19回若年者ものづくり競技大会 造園職種の部 銅賞

(国際園芸アカデミー 今中 琢斗) (8/2)

○第35回緑の環境プラン大賞 ポケット・ガーデン部門 地域コミュニティ賞

(国際園芸アカデミー マイスター科2年 造園緑化コース) (10/16)

『縁側』をイメージした庭園において、公園を訪れる人々、花や緑に関心ある人々の縁を繋ぎ、健康で心豊かな生活の一助としたいという思いを表現する点が評価された。

○第75回日本学校農業クラブ全国大会令和6年度岩手大会 最優秀賞  
(岐阜農林高校3年 細野 颯太) (10/24)

○豊かなむらづくり全国表彰事業 農林水産大臣賞  
(東地区集楽環境保全会(下呂市金山町)) (11/26)

廃校となった小学校を「持続可能な地域運営の拠点」として活用し、地域内外の交流の促進や、地区全体で集落環境を守る取組みとして、担い手の営農支援、新規就農者の定着に向けた支援を行っていることなどが評価された。

## <林業>

○第35回世界伐木チャンピオンシップ(オーストリア(ウィーン)) (9/19~22)  
総合順位第6位(日本人最高位)(森林文化アカデミー 杉本和也准教授)

○令和6年度全国みどりの少年団表彰 みどりの奨励賞(国土緑化推進機構理事長賞)  
(北方小学校みどりの少年団(揖斐郡揖斐川町)) (10/19)

緑の少年団活動等において、優れた活動を行っており、かつ、今後の活動の発展、充実が期待できるとして、同校における活動が評価された。

## <教育>

○第69回青少年読書感想文全国コンクール 最優秀作品(内閣総理大臣賞)  
(岐阜高校1年 辻内 凜) (2/1)

○令和6年使用交通安全ポスターデザイン【一般部門A】運転者(同乗者を含む)に呼びかけるもの 内閣総理大臣賞(岐阜城北高校2年 和田 さくら) (3/27)

○公益社団法人日本新工芸家連盟日本新工芸展 学生選抜展 高校部門 最優秀賞  
(多治見工業高校3年 安井 詩朗) (5/12)

○高校生ボランティア・アワード2024「大会ロゴマーク」最優秀賞  
(多治見工業高校2年 中村 優希) (6/27)

○令和6年度第36回全国高等学校情報処理競技大会 団体優勝  
(岐阜商業高校) (7/14)

○令和6年度第40回全国高等学校簿記競技大会 個人優勝  
(岐阜商業高校3年 堀江 尚憲) (7/24)

○第19回若年者ものづくり競技大会 ロボットソフト組込み職種 金賞  
(岐阜工業高校 電子機械工学科3年 安藤 貴志、前山 晃雪) (8/1)

○第94回全国高等学校速記競技大会 団体優勝(岐阜商業高校) (8/2)

○第1回全国高等学校日商簿記選手権大会 団体優勝 (岐阜商業高校) (8/9)

○第45回全国商業高等学校プログラミングコンテスト 最優秀賞  
(大垣商業高校 (9/3))

○第18回全国高校生食育王選手権大会 決勝大会第18代高校生食育王 (農林水産省消費・安全局長賞)  
(岐阜農林高校 チームまっちゃん) (9/29)

○令和6年度世界エイズデーポスターコンクール最優秀賞  
(岐阜各務野高校2年 池田 こはく) (10/29)

○第45回全国高校生ホームプロジェクトコンクール最優秀賞  
(岐阜高校1年 金森 愛加) (11/20)

○令和6年度第32回全国高等学校生徒商業研究発表大会 最優秀賞  
(大垣商業高校) (11/21)